

公益社団法人

福岡県作業療法協会会報

第110号 平成25年1月15日発行

(事務局)

〒802-0816 北九州市小倉南区若園2丁目6-21 ルミエール若宮101号

TEL 093-952-7587 発行責任者 志井田 太一 編集責任者 菅沼 一平

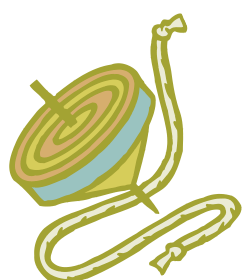
ホームページアドレス:<http://www.fuku-ot.org/>



特集 「手根管症候群に対する外来アプローチ」 後編:アプローチと症例紹介

目次

巻 頭 言 「新たな年を迎えて」	社団法人 福岡県作業療法協会 事務局長 中川 昇	・・・1
会長行動		・・・2
第17回福岡県作業療法学会 開催（3月9・10日）迫る！		・・・2
特集：「手根管症候群に対しての外来アプローチ」		
—蓄積性外傷・保存療法—	後編：アプローチと症例紹介 福岡豊栄会病院 井上 広昭	・・・3
各部委員会からのお知らせ		・・・7
Occupation	小竹町立病院 松本剛史	・・・12
リレーエッセイ	たたらリハビリテーション病院 川野美紀 福西会南病院 須崎優介	・・・13
会員動向調査		・・・17



『 会員の皆様 明けましておめでとうございます 』

昨年もいろんな出来事がありました。復興庁の発足、ロンドンオリンピックの開催、金還日食の観測、社会保障・税一体改革関連法成立、東京スカイツリーの開業、尖閣諸島の国有化、衆議院解散など・・・皆さんの中ではどんな事が記憶に残っていますか？

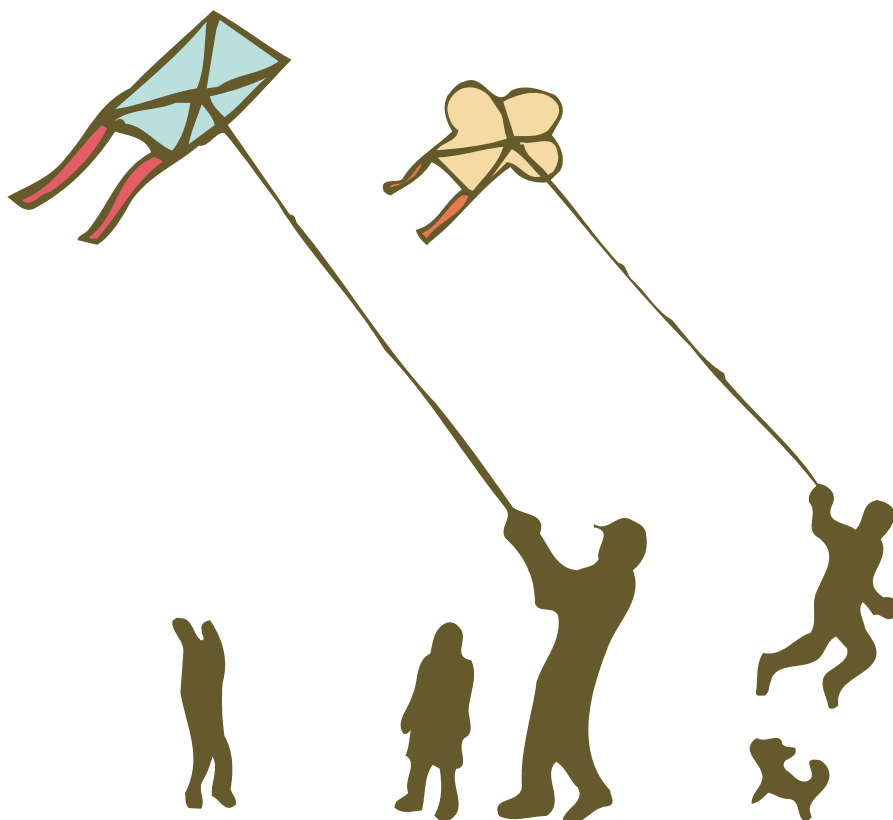
私の中では、私的なことですがリハビリテーションの学生時代の同窓会が1番記憶に残っています。3年に1度の開催なのですが、仕事が変わった人、病気をした人、おじいちゃん・おばあちゃんになった人もいました。ただ、基本的には変わってなくて、昔話に花が咲き「ホッ」とする楽しい時間を過ごすことが出来ました。友達っていいですね……

学生時代は、勉強のこと、好きな人のこと、将来のことなど話題は色々でしたが、どちらかと言うとどうでもいいことを夜遅くまで話していたような気がします。また、お互いにあまりお金がなかったので日常生活の中で困ったことがあると助け合っていました。今思うと懐かしいし若かったですね。しかし、私たちには夢がありました。大勢の仲間たちが作業療法士・理学療法士になって障害をもたれた方の生活を支えていこうと考えていたように思います。ただ最近は、日々の忙しさに大事なことを忘れがちになっています。皆さんは、どうですか？今年は、その時の思いに立ち返って、初心を忘れずに最後の最後まで夢に向かって頑張っていこうと思います。

昨年、公益社団法人の認定を受け、公益社団法人福岡県作業療法協会（以下当協会）となりました。その事により、今まで以上に作業療法を通して県民一人ひとりの利益につながる活動を行うことが望めます。その期待に応えていくことが、多くの人に作業療法を知って頂くことになり、そのことが当協会の発展につながると信じて頑張っていきたいと思います。

追伸・・・会員の皆様へ

今年も当協会の事業にご理解とご協力を心からお願いします。



会長行動（平成24年10月～12月）

10月 1日	平成24年度 第4回福岡県作業療法協会理事会 出席 場所：らそうむスポーツガーデン	11月17日	士合同士会長会議 出席 第34回九州理学療法士・作業療法士合同学会 参加
10月 6日	小倉リハビリテーション病院 50周年記念式典 出席 場所：リーガロイヤルホテル	12月 2日	場所：ブリックホール（長崎市） 社団法人福岡県私設病院協会 福岡県医療関連協業組合
10月16日	福岡県PT・OT・ST合同役員会議 場所：麻生リハビリテーション大学校	12月 4日	創立50周年記念祝賀会 出席 場所：ソラリア西鉄ホテル
10月21日	都道府県作業療法士会連絡協議会 役員会 出席 場所：日本作業療法士協会事務所	12月 4日	福岡県作業療法協会 平成24年度中間監査 出席 場所：吉田秀樹公認会計士事務所（中間市）
10月25日	北九州市すこやか住宅推進協議会 理事会 出席 場所：小倉北区役所	12月15日	聖マリア国際医療センター開所式 出席 場所：ホテルマリターレ創世久留米
11月11日	ケアマネット21研修会「認知症の医療と介護の連携」 聴講 場所：アジアインポートマート（AIM）（北九州市）	12月16日	九州士会長会広報戦略会議 出席 場所：サンライフホテル2・3（福岡市） 場所：ブリックホール（長崎市）
11月12日	第23回全国ふうせんバレーボール大会 開会式 出席 場所：北九州市立総合体育館 第14回西日本総合福祉機器展 参加 場所：西日本総合展示場	12月 2日	社団法人福岡県私設病院協会 福岡県医療関連協業組合 創立50周年記念祝賀会 出席 場所：ソラリア西鉄ホテル
11月16日	第33回九州理学療法士・作業療法士合同学会 監事監査 出席 平成24年度第2回OT九州支部会会議 出席 平成24年度九州理学療法士・作業療法	12月 4日	福岡県作業療法協会 平成24年度中間監査 出席 場所：吉田秀樹公認会計士事務所（中間市）
		12月15日	聖マリア国際医療センター開所式 出席 場所：ホテルマリターレ創世久留米
		12月16日	九州士会長会広報戦略会議 出席 場所：サンライフホテル2・3（福岡市）

第17回福岡県作業療法学会 開催（3月9・10日）迫る！ 一般演題（口述・ポスター）に過去最高の48演題が集まりました！

いよいよ、第17回福岡県作業療法学会の開催まで1か月半となりました。開催準備の方も、最終段階に入り忙しくなってきましたが、準備委員皆様のご尽力により順調に進んでおります。

特に、今回は一般演題への応募数が、これまでの学会における応募数を大幅に上回り、最終的に48演題の発表数となりました。松本学会準備委員長、平岡筑豊ブロック担当理事をはじめとする準備委員全員の学会開催に向けた熱い想いが、会員の皆様に伝わった結果ではないかと喜んでいる次第です。また基調講演、教育セミナー、公開講座、その他のイベントも充実した企画となっていると自負しております。

テーマは“未来がつながる作業療法 ～集い、語り合おう～”です。そして今年度は福岡県作業療法協会が公益社団法人として新たにスタートした節目の年でもあります。

ぜひ、盛大な学会となるよう会員の皆様の多数のご参加を心からお待ちしております。

*学会プログラムの詳細については、

学会HP <http://17th.fukuokaotgakkai.improboth.com/> また、まもなく送付される学会誌をご覧ください。

学術部担当理事 丹羽 敦

「手根管症候群に対しての外来アプローチ」

—蓄積性外傷・保存療法—

後編：アプローチと症例紹介
福岡豊栄会病院 井上 広昭

【はじめに】

今回は、前編として発生機序・評価について述べた。

私たち作業療法士は、患者の身体面、心理面それらを取り巻く環境にアプローチしていくことが、職務である。整形外科分野においても、「生活する（できる）手」¹⁾としての能力の拡大を図ることが重要であり、環境を整え、援助を行うという視点は共通である。

今回は、外来での治療・介入について述べ、最後に症例を紹介する。手根管開放術など術後のアプローチについては触れず、あくまでも蓄積性外傷という側面から保存療法についてのアプローチについて述べることにする。

【手根管症候群の治療方針】

ハンドセラピーにおいて、医師の治療方針を知ることが重要であり、作業療法士は当然、どの部分にアプローチするかを明確にすることが重要である。

ここで、手根管症候群の進行度を捉える上で一般的な浜田の分類に合わせた治療方針について当院の取り組みと文献をもとに述べる。

〈浜田の分類〉

Grade I	Grade II	Grade III
しびれ、痛み 知覚障害	母指球の萎縮 あり	母指対立障害 あり

Grade I では、消炎鎮痛剤、ビタミン剤（ビタミン B₁₂）の内服、装具療法が有効であり、強い痛み・しびれにおいては、ステロイド注射 3～4 回を行う。3～5 か月間の経過において、軽快がみられず、再発するようであれば、手術療法を検討する。また、Grade II においては、母指球の萎縮がみられ、保存療法では改善が困難なため、手術療法がすすめられる。しかし、患者が手術をためらうなら、保存療法を Grade I 同様実施する。Grade III では、保存療法は、無効であり、手根管開放術や滑膜切除術などの手術療法がすすめられる²⁾。また、母指の対立動作の改善を期待する場合は、母指再建術の適応となる。

したがって、上記の浜田の分類であれば、Grade I・II の一部は、保存療法の適応であり、Grade III は、手術適応である。また、前回、掲載の「蓄積性外傷の重症度」¹⁾であれば、段階 I と II・III の一部は保存療法の適応である。段階 IV・V では、手術療法及び安静・休職が必要となるため、保存療法の適応の段階でのアプローチが重要となる。

【CTSに対するOTアプローチ（保存療法）】

通常、保存療法は医師によりステロイドの局注、

消炎剤の服用、安静の指示が行われる。作業療法においては、後述のような保存療法に対するアプローチとリスク回避の指導を行う。急性期には、まず、炎症を抑えることが重要であり、痛みのコントロールと安静のためにスプリント固定を行う。炎症が治まれば、症状の再燃を監視しながら徐々に運動や活動の増加・拡大を図る。

1. 患者指導（治療方針の説明・安静の指導）

手根管症候群に対する治療の方針の説明を行い、安静の方法を説明する。スプリントの意義と夜間装着か、仕事時の装着かなどである。また、睡眠時間の著しく短い患者は、夜間の入浴後から、少し早めに装着するように指導する。夜間スプリントの効果判定は、約 2 か月で可能であるため、外来診療時に、症状の変化の聞き取りが必要である。また、就業中や就寝前のストレッチ、ここでは手関節・手指屈筋群のストレッチであるが、Reverse phalen test で陽性の場合、背屈位を強制することになるため、前腕部のダイレクトストレッチを指導している。

2. 活動の修正

患者の主訴は、明確であるが、症状を悪化させる肢位・動作についてはあいまいなことが多いため、症状の発現のキーとなる動作・肢位を聞き取り、理解する姿勢が大事である。

手根管の内圧を上げる動作、掌屈、背屈の繰り返しやその肢位の持続をさける。また、手関節掌屈位での手指の過使用はなるべく避ける。特に、つまみ動作や把持動作は注意する³⁾。また、使用時の手関節は、中間位に近づけるよう、動作の工夫や作業工程の改善、机や椅子の高さなど作業環境を修正する。また、活動の修正をするための自助具を文献 1 より引用し、紹介する（図 1）。また、蓄積性外傷の重症度において段階 III の患者は、すでに 2 カ所以上の部位に痛みを訴えており、2 次的な痛みに発展しているケースも多い。2 次的な痛みを避けるためにさらに、手根管症候群の症状が増悪するような悪循環に陥る。この場合、2 次的な痛みを抑制するような、テーピングを就労中に行うことによって、しびれの軽減を図ることがある。

それぞれ上段は避けたい動作例、下段は修正例を示す。

- a, b, d, e : 手関節の尺屈を中間位に維持する。
- c : 手掌中央部の局所的な圧迫を避け、分散する。
- f : 手関節屈曲の繰り返し動作を避ける。

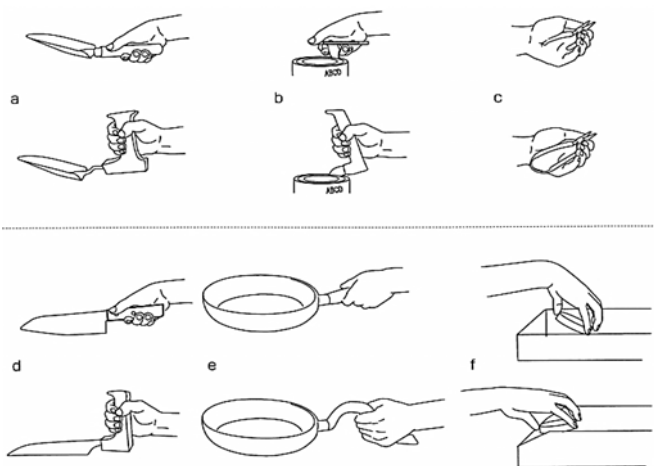


図1 活動の修正するための自助具の例 (文献1より引用)

3. 物理療法

1) 温冷交代浴

腫脹、浮腫の軽減を主目的として行う。

温熱は、血管拡張により、血流を増大させ、さらに結合組織の伸展性を増加させる。冷温は、痛覚を低下させ、炎症と浮腫を消退させる。また、神経・腱グライディングの効果を高める目的もある⁴⁾。

特に、手・前腕の外傷により腫脹や浮腫が発生し、手根管圧が上昇した場合は、CRPSを視野に入れ、予防的観点からも取り入れたほうが望ましい。

この場合、温冷交代浴は、交感神経の過緊張を取り除き、心地よい刺激で疼痛を和らげ、交感神経優位を減少させる効果がある⁵⁾。方法としては、温水に4分ついで冷水に1分交互に入れ、これを3～4回繰り返す。最後は、必ず温水で終わる¹⁾。

2) 超音波療法

超音波を手関節正中神経上に照射し、その温熱効果により、血流改善および循環不全による疼痛の緩和を図る⁴⁾。

3) 直線偏光近赤外線 (スーパーライザー)

赤外線は光作用と熱作用の両方により、血流の増大、疼痛軽減、生体作用の活性化、創傷治癒の促進などの作用を有すると考えられている。光のうち最も深達度が高い波長帯の近赤外線を低出力で正中神経に照射することにより、正中神経領域の血流改善や消炎鎮痛を図る⁶⁾。また、直線偏光近赤外線は筋伸張性の向上に効果があるとされていることから、蓄積性外傷の重症度において段階Ⅲのような、一カ所以上の痛みがあり、2次的な痛みに発展しているケースでは、対症療法として、筋緊張亢進している部位への照射も有効であると考えられる。

4. スプリント療法

手関節の内圧は、中間位で最も低く、屈曲、伸展のいずれも増加する。最も内圧の低い手関節肢位は伸展0～2°、尺屈3°である¹⁾。そのため、中間位に近くかつ作業になるべく差しさわりのない角度0～20°でカックアップスプリントを作製する。

浜田の分類においてGrade Iの軽傷例では、ナイトスプリントとして装着し、2か月で疼痛、しびれの変化、及び巧緻障害が改善し、GradeⅢでは全く効果が見られなかったとの報告がある⁷⁾。当院では、浜田の分類にてGrade I、蓄積性外傷の重症度段階Ⅰ・段階Ⅱの場合、ナイトスプリントとして掌側型カックアップスプリントを作成している。また、GradeⅡ、段階Ⅲでは、日中の装着も考慮し、仕事での装着が可能であれば、背側型カックアップスプリント (下の写真参照) も検討している。

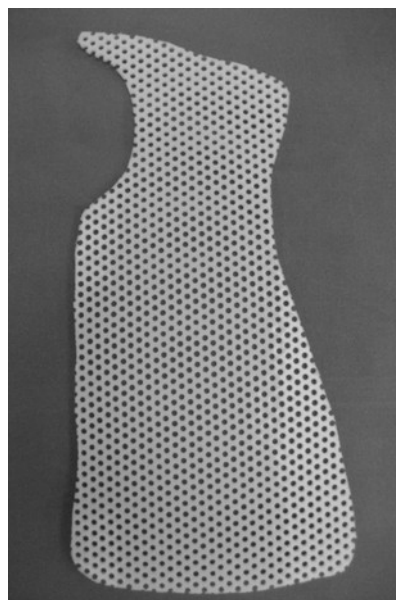


図2 背側型カックアップスプリント採型
(文献8参照)

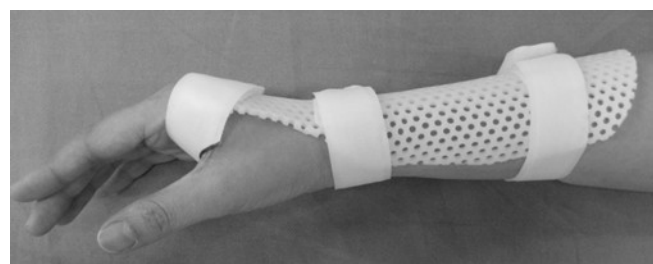


図2-1 装着側面



図2-2 装着掌側面

背側型カックアップスプリントは、手掌面からの感覚入力遮られないため、装着しながらの作業が可能となる。家事や就労上、衛生面に配慮が必要な場合は、スプリントの上に、ゴム手袋等の着用をすすめる。また、事務など書字を中心とする場合は、第一指間腔（水かき部）は、ペンの接触部となるため、母指球にかかる部分をスプリントの支持性を保つ程度に、少しカットする。

5. 神経・腱滑動運動

1) 神経グライディングエクササイズ

手と手関節の6つの肢位をとることで正中神経の滑動運動を行う。

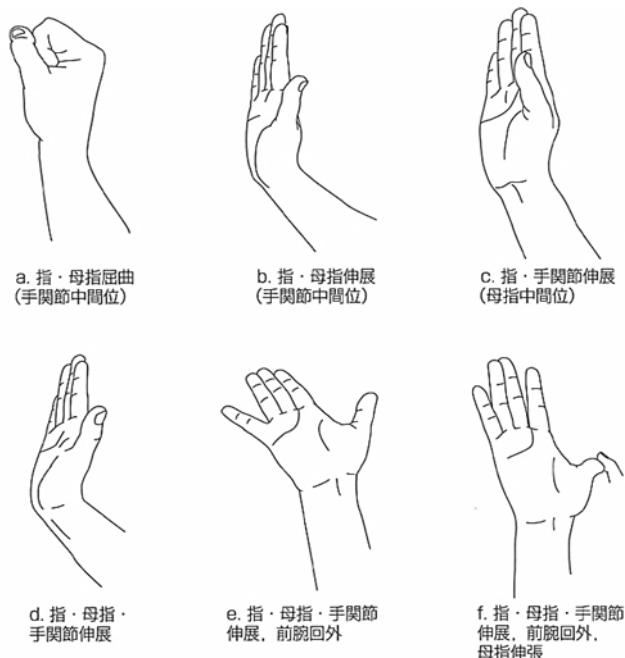


図3-1 神経グライディングエクササイズ
(文献9より引用)

2) 腱グライディングエクササイズ

開始肢位は、すべて手関節・指関節最大伸展位であり、指は5つの肢位（伸展、鉤、こぶし、テーブルトップ、伸展こぶしの肢位）をとり、それぞれの屈曲肢位を維持する。腱滑動運動を行うことで、手根管を通る深指屈筋と浅指屈筋の各滑動を促すことができる。浅指屈筋に対する深指屈筋腱の最大滑動を得るためには、『鉤・テーブルトップ』をとらせる。一方、浅指屈筋腱の最大滑動を得るには、『伸展こぶし・こぶし』である。このエクササイズにより、手根管内周囲組織との癒着が改善する。

これらの二つの滑動運動により、正中神経に最大の滑動運動が得られ、横手根靭帯下の神経組織内で神経の分離を促し、神経周膜内の絞扼を改善する。

さらに、正中神経の可動性が増加することで正中神経と屈筋腱間のグライディングを回復することができる。

6. 手内在筋運動

手内在筋をしっかり収縮させることで、手外在筋の過剰収縮を抑制させる。その際、手関節の掌背屈

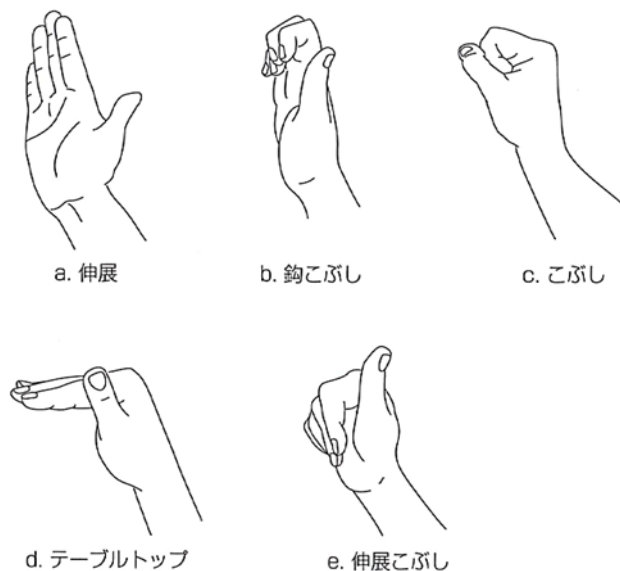


図3-2 腱グライディングエクササイズ
(文献9より引用)

を伴わないように注意する。絞扼性の神経障害は、ほとんどの場合、Seddonの分類にて

Neurapraxiaの状態であるが、再生神経に支配を受ける筋は疲労しやすいため、筋力増強訓練は、配慮が必要である。

【症例】

40代女性、事務職、診断：手根管症候群、既往ドケルバン腱鞘炎

1. 現病歴

1か月前より、しびれが出現し、2週間前より夜間の痛みが生じ、当院受診となる。

2. 主訴

手関節～母指・示指・中指にかけ夜間痛あり。

3. その他

レントゲン上、手根骨のアライメント異常・OAの所見等見られず。

4. OT評価

1) 聞き取り（問診）

職場では、書字の機会が多いとのこと。書字動作をみると、母指のMP・IP関節の過屈曲が著明であり、手関節の軽度掌屈がみられる。母指・示指・中指のしびれが仕事後に持続し、母指のMP関節と短母指伸筋腱の痛みが出現しているとのことだった。

CTDの重症度としては、段階Ⅲであり、2か所以上の部位に痛みが出現している。

2) 神経刺激テスト

ファーレンテスト陽性、逆ファーレンテスト陰性、奥津テスト陽性

3) 感覚検査

母指・示指・中指のしびれや蟻走感など異常感覚は見られるが正常域。

4) 筋力検査

正中神経支配の筋力低下はなし。握力は患手20kg, 健手は18kg。5kgで母指MP関節に握りこみ時痛みあり。

5) 関節可動域検査

母指CM関節の対立とMP関節屈曲に軽度可動域制限あり。

6) OTアプローチ

①交代浴②腱グライディングエクササイズ・神経グライディングエクササイズ③夜間スプリント作成④テーピング指導（母指過屈曲防止・軽度背屈誘導）⑤前腕手関節屈筋群のダイクトストレッチ（指導も含む）

5. 経過・結果

2か月後、母指・示指・中指のしびれの軽快がみられ、テーピングなしの状態でも母指の痛みが消失した。また、そのため、書字動作時の母指、手関節屈筋の過緊張の改善がみられ、フォームの修正もみられた。



図4-1 介入前



図4-2 テーピング後の書字動作フォーム
（ドケルバン腱鞘炎に対するテーピング）

6. 考察

患者の書字動作において、常に母指・指屈筋を緊張させて書く習慣があり、ドケルバン腱鞘の既往がある。また、長時間の書字動作において、母指の屈曲・対立方向の痛みがあるため、ドケルバン腱鞘炎

の再燃も疑われた。右上記の書字動作は、痛みをさけるために掌屈を強めている。通常、事務的な仕事であれば、就労中に装着可能な背側カックアップを検討するがCTSは2次的に発症していると考え、ドケルバン腱鞘炎に対するテーピングを行った。このテーピングにて、軽度、背屈位への誘導も可能であったため、手根部の安静とフォーム修正につながったと考える。

【おわりに】

今回、手根管症候群について発生メカニズムを踏まえ、作業療法士として何ができるかに主眼をおき、さまざまな文献を参考に当院の取り組みをまとめてみた。手根管症候群は、作業活動（仕事）が原因となりうる疾患でもあり、平素から作業や活動を指導する作業療法士であるからこそできる部分を大切にしたいと思う。「痛いから仕事を休む」ということは、患者にとって重篤な場合以外、難しい状況である。もちろん、痛みなどの主訴への対応は対症療法として必要であるが、リスク回避の指導（活動の修正）や安静の指導（スプリント作成・装着含む）も重要であり、手術療法適応の状態に至らないように患者の生活全般を診ていくという視点が必要だと思われる。

【参考・引用文献】

- 1) 中田眞由美, 大山峰生: 作業療法のためのハンドセラピー入門. 三輪書店, 2007.
- 2) 中村耕三: 手・肘の痛みクリニカルプラクティス. 中山書店, 2010.
- 3) 深水優, 松崎昭夫: 手指の肢位による手根管内変化の測定. 整形外科と災害外科, 53:92-94, 2004.
- 4) 野崎奈緒美: 手根管症候群に対する的確・迅速な臨床推論のポイント. 理学療法, 28: 157-163, 2011.
- 5) 古瀬洋一: CRPSに対する手指・手関節のリハビリテーション. MB Med Reha, 95: 65-69, 2008.
- 6) 竹内信行, 大澤諭樹彦: 直線偏光赤外線照射による筋伸張性向上の効果. 理学療法学, 31: 337-342, 2004.
- 7) 渡部徹, 菊池臣一ら: 手根管症候群に対するnight splint装着の治療効果. 整形外科, 44: 251-253, 1993.
- 8) 矢崎潔: 手のスプリントのすべて. 三輪書店, 1994.
- 9) 中田眞由美: 上肢の障害; 絞扼性障害. 総合リハ, 34: 327-332, 2006.
- 10) 上羽康夫: 手 その機能と解剖. 金芳堂, 2006.
- 11) 森於菟ら: 分担解剖学1 総説・骨学・靱帯学・筋学. 金原出版, 1982.

各部・委員会からのお知らせ

【教育部】

1. 主催研修会開催報告

1) 第2回現職者共通研修

日 時:平成24年11月10日(土) 14:00~17:10

会 場:福岡和白リハビリテーション学院

テーマ & 参加数 & 講師:

区分1

①作業療法生涯教育概論 48名

やまびこ学園 鐘ヶ江 秀俊

国際医療福祉大学 丹羽 敦

②作業療法における協業・後輩育成 53名

福岡医健専門学校 永田 敬生

区分2

①作業療法の可能性 63名

タキ商会 瀧 美奈子

②事例検討方法論 46名

小倉リハビリテーション学院 音琴 慎一

区分3

①職業倫理 36名

福岡リハビリテーション専門学校 中山 仁

②保健・医療・福祉と地域支援 34名

健康リハビリテーション内田病院 梶井 剛士

区分4

①日本と世界の作業療法の動向 25名

九州栄養福祉大学 大丸 幸

②エビデンスと作業療法実践 47名

九州リハビリテーション大学校 佐野 幹剛

2) 発達分野研修会

日 時:平成24年11月11日(日) 10:00~15:10

会 場:麻生リハビリテーション大学校

テーマ:『子どものアクティビティを考える』

①講 義:講師 黒澤 淳二

(大阪発達総合療育センター)

②グループワーク:

子どものアクティビティ実践編

講師 黒澤 淳二

参加数:35名(OT 29名, 他職種 2名, 学生 4名)

3) 現職者選択研修:身体分野

日 時:平成24年11月11日(日) 9:00~16:20

会 場:麻生リハビリテーション大学校

テーマ& 講師:

①急性期の作業療法

甲斐 雅子(元 中国労災病院)

②回復期の作業療法・回復期リハビリテーショ

ン病棟における作業療法の実践

原 麻理子(白十字病院)

③維持期の作業療法

(活動・社会参加・介護保険領域)

深井 伸吾(有限会社いきいきリハビリケア)

④就労支援の作業療法

中村 佳奈(小倉リハビリテーション学院)

⑤終末期の作業療法

斎藤 弘道(久留米大学病院)

参加数:135名(他県OT 4名;長崎2名、

熊本1名、山口1名)

2. 今後の主催研修会開催予定(日程・会場)

1) 分野別研修会

①地域分野研修会(応用編):

H25. 1. 27(日) 福岡医健専門学校

【保健福祉部】

1. 活動報告

(1) 会議

1) 高齢者支援企画会議

①第7回

日時:10月22日

場所:福岡和白リハビリテーション学院

②第8回

日時:12月3日

場所:福岡和白リハビリテーション学院

2) 筑後ブロック高齢者支援企画会議

①第3回

日時:9月5日

場所:高良台リハビリテーション病院

3) 特別支援教育対策委員会会議

①粕屋町社会福祉協議会子育てサロン

日時:平成24年10月3日(水) 10:30~12:00

場所:粕屋町福祉センター

内容:

- ・8月・9月の活動の紹介
- ・10月20日の流れについて
(小麦粉粘土を作って遊ぼう・育児相談・JSI-R返し)
- ・12月のサロンについて
(クリスマスケーキを作ろう)

②粕屋町社会福祉協議会子育てサロン

打ち合わせ

日時:平成24年10月20日(土) 9:00~13:00

会場:粕屋町福祉センター

内容:

- ・臨床心理士との顔合わせ
- ・今後の展開について

臨床心理士の役割:

主に母親の子育てに対する不安や悩みを引き出し、参加者相互のピアカウンセリングを促すように介入。

作業療法士の役割:

子どもの特性(感覚特性や行動特性)と子どもへの母親の関わり方を活動を通して客観的に把握し、子ど

もの特性に応じた関わり方や子どもが集中しやすい環境など、具体的な方法をアドバイスする。

粕屋町社会福祉協議会：

参加者への連絡など事務全般を担う。
子育て応援サロンの会（仮称）を設立し、子育て応援サロンを卒業しても定期的に集まり、情報交換などを通して継続的に支援を実施。5年後・10年後も継続させることで、子育ての先輩の講演なども企画したい。

情報用紙の作成：

参加者の情報を共有する為に情報用紙を作成。

4) 久留米市セーフコミュニティ推進委員会

①セーフコミュニティ事前審査

日 時：10月24日（水）

審査委員：

パク氏（台湾地域支援センター長）

チョウ氏（韓国、医師、地域支援センター長）

次回予定：1月に会議予定

5) 大牟田市自立支援・生活機能改善特化型介護予防推進事業

①第3回企画会議

日時：10月19日（金）17：30～

会場：大牟田市役所

②第4回企画会議

日時：11月4日（日）17：30～

会場：大牟田共立病院

(2) 研修会の開催

1) 第2回生活行為向上マネジメント研修の開催

日 時：平成24年12月9日

会 場：国際医療福祉大学

講 師：宮本香織OTR

参加者：40名

2. 活動予定

(1) 市町村への協力

1) 粕屋町子育てサロン

偶数月 第1土曜日 10：00～12：00

2) 大刀洗町介護予防事業

24回/年 転倒予防教室の依頼
（1回120分程度）

3) 久留米市歯科衛生士会主催介護予防事業へのOT派遣

3. その他

(1) 認知症初期集中支援チームへの対応について

日 時：平成24年6月18日

テーマ：『厚生労働省老健局高齢者支援課認知症・虐待防止対策推進室資料』（p14）

内 容：イギリスなどの例を参考に、看護職員、

作業療法士等の専門家からなる「認知症初期集中支援チーム」を地域包括支援センター等に配置し、認知症の人や家族に関わり、自立生活のサポートを行う体制の整備に取り組む。

(2) 1クラス（40人）に2人は発達障害

⇒学校との連携を進めていきたいと考える。

【福岡ブロック】

1. 事業企画会議開催：10月11日、11月13日、12月18日

2. エリア会部

南区・春日・那珂川町・大野城・大宰府・筑紫野エリア会

日 時：10月24日（水）19：00～

会 場：福岡赤十字病院 大会議室

テーマ：『終末期・緩和ケアの作業療法』

講 師：東谷成晃先生（戸畑リハビリテーション病院 作業療法士）

参加：19名（うちPT1名）

3. 広報部

1) 10月号「Joy Style」発行

4. 教育学術部

『OTのための信念対立解明アプローチ』

日時：10月6日 14：00～

場所：麻生リハビリテーション大学校

講師：京極真先生（吉備国際大学保健医療福祉学部作業療学科・准教授）

参加：44名（うち3名他職種）

5. 福祉有償運送運転者講習会講師派遣

日時：11月3日（土） 15：15～18：30

会場：マイマイスクール花畑

参加：12名

6. 平成24年度福岡市福祉用具普及事業運営協議会参加

日時：12月19日（水） 15：00～

会場：市民福祉プラザ

【北九州ブロック】

1. 活動報告

1) 北九州ブロック

①ブロック企画会議開催

日時：平成24年11月5日（月） 19：00～

会場：曾根東市民センター 大会議室

②「認知症北九州大会」実行委員会

日 時：平成24年10月29日（月）、11月26日（月）、12月19日（月） 19：00～

会 場：北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 4F和室

参加者：藤崎、玉野

③第23回全国ふうせんバレーボール大会

日 時：平成24年11月11日（日）

会 場：北九州市立総合体育館

参加者:HLスタッフ21名 (ST1名、PT2名含む)

2) 小倉北・門司エリア

①エリア事業企画会議開催

日時:平成24年11月6日 (火) 18:30～

会場:北九州中央病院

②第2回エリア研修会開催

日時:平成24年9月16日 (日)

会場:福祉用具プラザ北九州

講師:櫻木 美穂子氏

(福祉用具プラザ北九州)

参加者:16名

3) 小倉南・京築エリア

①エリア事業企画会議開催

日時:平成24年9月11日 (火) 19:00～

会場:小倉南障害者活動センター

②作業療法啓発活動

日時:平成24年10月27日 (土)

会場:小倉南区企救丘市民センター

参加者:5名

内容:パンフレット配布、パネル展示、ビーズ・革細工体験等

4) 八幡西・遠賀・中間エリア

①エリア事業企画会議開催

日時:平成24年9月25日 (火) 19:00～

会場:おかがき病院

②第2回エリア研修会開催

日時:平成24年10月20日 (土) 19:00～

会場:八幡厚生病院

テーマ:『臨床実習施設・養成校のWIN-WINな関係を目指して』

講師:深町 晃次氏 (九州リハビリテーション大学校)

参加者:25名

③作業療法啓発活動

日時:平成24年10月28日 (日)

会場:「遠賀町健康福祉まつり」に参加

参加者:4名

内容:作業療法相談、タオル体操等

5) 戸畑・若松・八幡東エリア

①エリア事業企画会議開催

日時:平成24年10月9日 (火) 18:30～

会場:あやめの里

②第3回エリア研修会開催

日時:平成24年9月21日 (金) 18:30～

会場:製鉄記念八幡病院

テーマ:『作業療法の可能性を広げよう』

参加者:43名

【筑後ブロック】

I. B地区

1. 審議事項:なし

2. 協議事項:なし

3. 報告事項

(1) 活動報告

1) B地区企画会議 (第5回)

日時:2012年11月17日

内容:①地区交流会について

②症例発表について

参加者:中原, 大村, 溝口, 下村, 山下

2) 24年度地区交流会

日時:2012年11月17日

会場:レストランバー クリュー

参加者:27名 (8施設)

(2) 活動予定

1) 症例発表会

日時:平成25年1月16日 (水) 19:00～

会場:久留米リハビリテーション学院

(会場は2カ所準備)

II. C地区

1. 審議事項:なし

2. 協議事項:なし

3. 報告事項

(1) 活動報告

1) C地区企画会議

日時:平成24年11月5日 (月)

会場:天領病院

内容:C地区研修会の役割分担の最終確認 等

参加者:澤田, 森, 川田, 上村, 末藤

2) C地区研修会

日時:平成24年11月15日 (木)

19:00～21:30

会場:帝京大学 福岡医療技術学部

テーマ:『シーティング ～車椅子と付属品を知って実践しよう～』

講師:瀧美奈子 先生 (タキ商会)

参加者:33名

(2) 活動予定

1) C地区企画会議

日時:平成25年2月4日 (月)

会場:天領病院

内容:症例発表の役割分担 等

参加者:C地区運営委員

2) 新人教育・症例発表

日時:平成25年2月12日 (火) 19:00～

会場:帝京大学 福岡医療技術学部

III. D地区

1. 審議事項:なし

2. 協議事項:なし

3. 報告事項

(1) 活動報告

1) D地区企画会議

日時:平成24年11月6日 (火)

会場:甘木中央病院

内容:代表者会議報告, 活動予定事業企画

参加者:古賀, 筒井, 出利葉, 藤田

2) 症例発表 日時:平成24年11月16日 (火)

会 場:甘木中央病院
発表者:8名⇒6名
聴講者:2名
座 長:濱本氏 (聖ヨゼフ)
今村氏 (丸山病院)
司 会:田中氏
その他:代表者会議報告

(2) 活動予定

1) 地区研修会について

日 時:平成25年2月8日 (金) 19:00~20:30
会 場:デイ・サービスセンターけんせい
テーマ:『半側空間無視』
講 師:朝倉健生病院 OTR 筒井氏

IV. 学術

1. 審議事項:なし
2. 協議事項:なし
3. 報告事項

(1) 第2回事例報告会

日 時:平成24年11月16日 (金)
会 場:甘木中央病院
発表者:6名
聴講者:2名, 13名 (ポイント申請以外)
座 長:2名

(2) 発表者・聴講者への連絡

日程の連絡ミスあり. 次年度からも注意して
連絡を行う.

V. 教育

1. 審議事項:なし
2. 協議事項:なし
3. 報告事項

(1) 活動報告

1) 第2回分野別研修会

日 時:平成24年12月2日 (日)
会 場:柳川リハビリテーション学院

① 身体障害部門

テーマ:『手の外科の基礎』
講 師:松山 拓史 先生
(渡辺整形外科病院 作業療法士)
参加者:43名 (うち 学生2名)

② 老年期障害部門

テーマ:『股関節のリハビリテーション』
講 師:関 誠 先生
(帝京大学 福岡医療技術学部
理学療法学科 准教授)

参加者:35名

③ 精神障害部門

テーマ:『作業療法士が地域でできることを
考える ~当事者からの意見を通
して~』

講 師:和田幸之・智子 先生
(うさぎの会)

参加者:37名 (うち 学生22名)

2) 第2回分野別研修会

日 時:平成24年12月9日 (日)

会 場:柳川療養センター

① 発達障害部門

テーマ:『重症児専用のスイッチ製作と玩
具の応用』

講 師:小林 竜馬先生
(九州大学 先端融合医療レドッ
クスナビ研究拠点)

参加者:8名

(2) その他

1) 運営委員変更について

身障部門は木村伸一郎OTR (いきいきリハビ
リケア 久留米デイサービスセンター) に
変わる予定である.

VI. 会計

1. 審議事項

(1) 次年度の事業計画と予算案について

各地区, 教育, 12月26日までに会計まで提出
(12月31日までに協会事務局へ報告)

VII. 事務

1. 審議事項:なし

2. 協議事項

(1) 次回代表者会議にて報告依頼

1) 2月代表者会議にて、年度末監査報告書作成 について情報を提供する.

- ① 特別に行なった事業
- ② 各地区、教育、学術、などの会議日程
- ③ 交流会日程、参加者数

(2) 記念誌提供資料 (データ) 選定

【筑豊ブロック】

I. 事業企画会議

1. 平成24年度 第4回事業企画会議

日 時:平成24年10月15日 (月) 19:00~20:45
会 場:飯塚記念病院 デイケアセンター新館
参加者:12名

2. 平成24年度 第5回事業企画会議

日 時:平成24年12月17日 (月) 19:00~21:00
会 場:飯塚記念病院 デイケアセンター新館
参加者:14名

3. 第6回 県学会準備委員会

日 時:平成24年10月22日 (月) 19:00~21:30
会 場:飯塚記念病院 デイケアセンター新館
参加者:16名

4. 第7回 県学会準備委員会

日 時:平成24年12月3日 (月) 19:00~21:30
会 場:イイヅカコミュニティセンター
学習室202

参加者:16名

II. 研修会

1. 第4回 筑豊ブロック研修会

日 時:平成24年10月26日 (金) 19:00~21:00
会 場:飯塚記念病院 多目的ホール

内 容:股関節疾患に対するリハビリテーション
講 師:吉住浩平RPT (福岡志恩病院)
参加者:62名 (OT56名、PT5名、学生1名)

2. 現職者共通研修 第2回 事例報告会

日 時:平成24年11月9日 (金) 19:00~21:00
会 場:飯塚記念病院 多目的ホール
参加者:(発表者):6名,(聴講者):4名,
(非該当者):16名

3. 第5回 筑豊ブロック研修会

日 時:平成24年12月13日 (木) 19:00~21:00
会 場:飯塚記念病院 多目的ホール
内 容:キネステティックについて
講 師:西畑美幸OTR (株式会社らそうむ)
参加者:38名

IV. その他

広報誌 第3号 平成25年1月発行予定

【保険委員会】

I. 事業企画会議

1. 第3回保険委員会事業企画会議開催

日時:平成24年10月23日
会場:あおぞらの里 古賀デイサービスセンター

2. POS三団体役員会議

日時:平成24年10月16日
会場:麻生リハビリテーション大学校

3. 訪問リハビリテーション研修会3団体会議

日時:平成24年10月29日
会場:青洲会クリニック

II. 研修会予定

1. 日時:平成25年2月9日 (土) ~2月10日 (日)
2月9日 (土) 14:00~18:30
2月10日 (日) 10:30~16:45

2. 場所:麻生リハビリテーション大学校8F講堂

3. 内容:

(1日目)

14:00~14:15 オリエンテーション
(福岡県PT・OT・ST各会長挨拶)

14:15~15:45 講演会

テーマ:

『セラピストに期待される役割と課題』

講 師:川越 雅弘 先生 (国立社会保障・人口問題研究所 企画部第1室長)

司 会:座小田 孝安 氏
(福岡県作業療法協会 副会長)

16:00~17:30 シンポジウム

テーマ:

『暮らしやすい生活環境を目指して』

福祉用具業者:岩井 茂 氏

(㈱ケアテックサービス)

一級建築士:吉田 誠治 氏 (㈱夢企画)

理学療法士:竹下 幸治 氏 (リハビリ訪問
看護ステーションすばる)

司 会:反田 治 氏 (訪問看護ステーションきらら 作業療法士)

17:45~18:30 シンポジウム討論会
(2日目)

10:30~12:00 講演会

テーマ:

『介護老人保健施設からみた地域連携』

講 師:土井 勝幸 先生 (介護老人保健施設
せんだんの丘 施設長)

司 会:福田 裕樹 氏 (柳川リハビリテ
ーション学院 作業療法士)

12:00~13:00 昼休み

13:00~14:30 講演会

テーマ:『訪問歯科の現状~訪問リハビリと
の連携について~』

講 師:原 豪志 先生
(アンプル歯科 副院長)

司 会:佐藤 文保 氏
(福岡県言語聴覚士会 副会長)

14:45~16:15 講演会

テーマ:『在宅におけるリスク管理
~観察のポイント~』

講 師:入江 将孝 先生
(新小倉病院 理学療法士)

司 会:小柳 靖裕 氏
(製鉄記念八幡病院 理学療法士)

4. 参加条件:福岡県作業療法協会かつ日本作業療法
士協会会員であること。

5. 申し込み期間:

平成24年11月20日~平成25年1月15日
(期間外の申し込みは無効)

(定員をオーバーした場合はこちらで調整さ
せていただく場合があります)

6. 申し込み方法:

下記窓口へ、別途申込用紙を記入の上、
FAXにてお申し込みください。

福岡県作業療法協会:

福岡県作業療法協会事務所

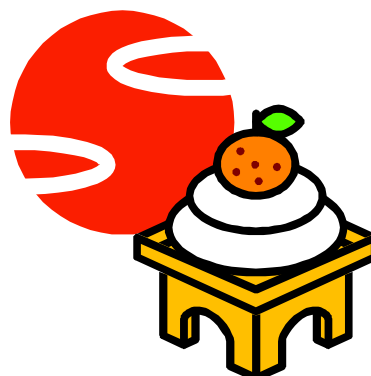
FAX番号:(093)953-6287

7. 問い合わせ先:

福岡県作業療法協会:

福岡県作業療法協会事務所 (FAXのみ)

FAX番号:(093)953-6287



はじめまして。小竹町立病院で勤務しております作業療法士の松本剛史と申します。小竹町立病院の概要、歴史、当院リハビリテーション科の開設から現在に至るまでの経緯と自身の気づき、作業療法の取り組み、自身の近況についてご紹介をさせていただきます。

当院は、大正9年5月に勝野村立伝染病院として開設、昭和36年5月に病床数を40床に増床し、小竹町立病院に改称。昭和40年4月に病床数を56床に増設。現在、病床数56床、内科・外科・リハビリテーション科を診療科目としている町立病院です。住民の健康な生活を守るという町の医療施策を実現する使命のもと、地域の医療、保健、福祉の連携体制のかなめとして、医療の質および安全性の向上に努め、住民から信頼され親しまれる病院を目指しています。

当院リハビリテーション科は平成23年5月に理学療法士1名、作業療法士1名、リハビリ室面積45㎡、算定疾患分類は運動器Ⅲ・呼吸器Ⅱの体制でスタートしました。セラピストは同年4月よりの勤務で、約1ヶ月間を準備期間としました。リハビリ室の改装に始まり、器具の選定、リハビリ道具の自主作成、厚生労働省への届出、病院職員・患者様へのリハビリ導入の説明、書類の書式設定等々…今までの自分がいかに整えられた環境を与えられていたのかを実感する日々でした。リハビリ科開設経験のある上司の先生に引っ張っていただきながら何とか業務を遂行していく中で、苦労と同時に自分たちで1から作り出していくやりがい、今まで気づけなかった発見や新たな学び、何よりも自分たちが築いていったリハビリテーション科の取り組みを多くの方に受け入れていただく喜びを得ることができました。当初は少なかった利用患者様も徐々に増え、今では多くの方が意欲的にリハビリに取り組まれています。

そんな1年を経て、平成24年より、理学療法士2名、作業療法士2名、言語聴覚士1名、リハビリ室110㎡、算定疾患分類は脳血管Ⅱ、廃用症候群Ⅱ、運動器Ⅰ・Ⅱ、呼吸器Ⅰの体制に変更となりました。新たな仲間と共に、より多くの患者様のニーズに応えられるリハビリテーションを提供すべく日々業務に努めています。

また、私事ではありますが、平成25年3月9日・10日に開催予定の第17回福岡県作業療学会の準備委員長を現在務めさせていただいています。福岡県作業療法協会が公益社団法人として新たにスタートをした節目の年度に開催する県学会です。臨床・教育・研究に携わるものが互いの知識を共有し、更なる作業療法の発展に向けて研鑽し合うだけでなく、作業療法に関わる利用者、ご家族、他職種等多くの方々との「つながり」をキーワードとしてテーマを企画しました。テーマは「未来がつながる作業療法～集い、語り合おう～」です。さまざまな領域で活動する作業療法士らが多く集い、語り合うことができる場を設けます。集った「つながり」はまた新たな結びつきを生み、豊かな未来の礎と成り得るものと考えます。合わせて、市民の皆様は作業療法に触れていただくイベントを用意致します。私自身、学会の企画・運営に携わるのは初めてのことで、周囲の諸先生方に助けられてばかりの毎日です。しかしながら、今学会が多くの作業療法士が改めて作業療法と真摯に向き合い学ぶことができる場、そしてより多くの方々に作業療法を知っていただける場になるよう最大限努力していく次第です。尚、学会専用ホームページも作成しておりますので、「第17回福岡県作業療学会」で検索されて是非ご覧下さい。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

最後になりますが、過去・現在・未来における自分を取り巻く環境に感謝しながら、今後とも、小竹町立病院の発展、学会開催に向けての準備、作業療法士としての自己研鑽に励んでいきたいと思っています。



たたらリハビリテーション病院 川野美紀

福岡リハビリテーション病院の中野美澄さんからバトンを引き継ぎました。

私が勤務している『たたらリハビリテーション病院』はPT29名、OT23名、ST10名のスタッフが、入院（回復期・療養・緩和ケア）から退院後の在宅生活（通所リハ・訪問リハ）まで一貫したリハビリテーションサービスを提供しています。

私は現在、回復期リハで診療や書類作成・連携業務と四苦八苦しています。近年、リハビリテーション分野は機能分化し、対象者の身体機能や障害受容・社会参加までの流れを、同じ場所で垣間見ることが難しくなっています。そんな中、私はOTになり初めて担当させていただいた方と、今でも同じ施設内でお会いできる機会があります。その10年の歳月の中で、対象者を取り巻く環境や生活スタイルも大きく変化しました。自宅内から徐々に自宅外へ行動範囲が広がり、時にはスーパーですれ違い会話をする事もありました。しかし、年を重ねるごとに行動範囲は狭まり、自宅内を車いすで過ごす日々になりました。それでも「植えたチューリップが咲いたよ」「毎朝来るスズメにパンをあげている」など変化する身体状況の中でも、その人らしい時間を過ごされており、当時の私の乏しい知識と想像力では知り得なかった多くの事を、デイケアから会いに来てくれる日々を通して教えていただいています。

作業療法士は「障害」と「生活」どちらも理解し支援できる職種だと思います。機能分化が進む中でもOTはその架け橋となり、職務時期以外のOTと連携を図り、対象者に合わせた支援を行うことが大切だと思います。生き生きとしたその人らしい生活ができるよう、これからも知識・技術を高めながら多くの方と連携し、生活の場を見据えた関わりを行っていきたいと思います。

次回は、会うたびにエネルギーをもらっている、川崎病院の宮崎量代さんにバトンを渡します。よろしくお願いします♪



福西会南病院 須崎優介

こんにちは。学生時代からの友人であり、公私ともにお世話になっている愉快的な岩木大佐さんからバトンを受けました、須崎優介といいます。

私は福岡市早良区にある福西会（フクセイカイ）南病院に勤務しています。当院は回復期病棟40床、療養病棟70床で、現在のリハ科スタッフはPTが21名、OTが16名、STが4名です。私は回復期の配属です。

病棟としては回復期10か条に沿った取り組みを中心に、この4年間で様々な変化がありました。取り組みを続けていく中でチームの結束力は強くなり、ふと見渡すと活発な意見交換をする輪が増えたように感じています。

私はといえば…、OTになる前は介護職を経験しました。患者様の人生の一部に関わらせて頂き、当初は違う視点で関わることへの戸惑いがありました。

OTとして、未熟ながらも退院後を考えていく中で、時には生活を左右する責任の重さを痛感しています。周囲の温かい指導を頂きながら、昨日よりも一歩踏み込んだニーズに応えられるよう、引き出しを増やす努力が必要だと日々感じます。

学生時代にはOTを目指すことを志半ばで諦めようとしてしました。手先は器用な方ですが、性格が不器用なもので、崖っぷちに立たされて初めて自分の甘えに気付かされました。私の性格を訓練して下さった方々には深く感謝しています。OTを志して良かったです。

昔、恩人からの「初めての職場は大事にしてください。どんな仕事でも十年間は自分の中に扉を作らないこと。」という言葉が印象に残っています。初心を忘れず、驕らず、自分の殻を作ってしまうまいにこの言葉を大事にしています。そして、どんな状況でも乗り越える強い志と柔軟性を持って、今後もOTを続けていきたいなあ…と、このリレーエッセイを書きながら感じました。このような機会を頂き、ありがとうございました。



株式会社 麻生飯塚病院

募集職種：作業療法士

募集人数：3名

雇用形態：正職員

給与：¥204,340(専門学校新卒の場合)

賞与：年2回5ヶ月(業績連動制)

H23年下期実績¥600,000(経験6年目)

勤務時間：8:30～17:00

休日：4週7休(半日出勤1日)※365日リハ導入後は交替勤務扱いになります。

福利厚生：健康保険、厚生年金、雇用保険、労災、財形

その他：交通費

備考：地域医療支援病院 H25.1新棟オープンです！

連絡先：住所：福岡県飯塚市芳雄町3-83

電話番号：0948-22-3800

FAX：0948-29-5744

担当者名：井上 洋一

医療法人 原三信病院 香椎原病院

募集職種：作業療法士

募集人数：4名

経験年数：3年以上

雇用形態：常勤

給与：256,600円(2、3年目の例。住宅手当、特別手当なども含まれています)

賞与：年2回(計5ヶ月)

勤務時間：8:50～17:04(日勤)

回復期病棟は早出・遅出のため変則勤務

休日：週休2日制

福利厚生：通勤手当、住宅手当、特別手当、休日手当有り

その他：試用期間3ヶ月、教育研修充実

備考：元気のある作業療法士を募集しています！施設見学は随時対応しますのでお気軽にご連絡下さい。

連絡先

住所 813-0011 福岡市東区香椎3-3-1

電話番号 092-662-1333

FAX 092-662-1330

Mail <http://www.kashiihara.or.jp/>

担当者 事務課 矢野

医療法人若愛会 介護老人保健施設けやき

募集職種：作業療法士(PT、ST可)

募集人数：1名

雇用形態：正規職員

給与：204,200円～285,000円

賞与：年2回4.0ヶ月(前年度実績)

勤務時間：8:45～17:30(休憩1時間)

休日：4週8休

福利厚生：雇用 労災 健康 退職金制度あり(勤続3年以上)

その他：交通費あり

勤務地：介護老人保健施設けやき 入所55床

短期入所1床通所リハビリテーションけやき

定員50名

関連施設：特別養護老人ホーム グループホーム

デイサービスセンター3カ所

通所リハビリテーション

居宅介護支援事業所

ヘルパーステーション

応募方法：まずはご連絡下さい

連絡先：〒808-0043

北九州市若松区西畑町9番72号

TEL093-751-1888 FAX093-751-8881

担当者名：管理部長 平山 直人

訪問看護ステーションにしこう

募集職種：作業療法士(PT/STも可)

募集人数：2名

雇用形態：パート労働者

給与：時給3500円

賞与：なし

勤務時間：9:00～18:00の間に、1～5時間(応希望)

休日：他 週に1日から5日勤務(応希望)

福利厚生：労災保険。就業時間により雇用保険加入

その他：交通費 1件につき200円。

コインパーキング利用の場合支給あり。

備考：在宅で療養中の方(介護保険・医療保険)に対して、主治医の指示に基づきリハビリを提供します。訪問リハ初心者の方でも同行し、丁寧にサポートします。

訪問先は福岡市南区・博多区・中央区・春日市・大野城市・那珂川町などで、原則ご自宅から直行直帰になります。(マイカー使用、任意保険加入のこと)。

現在 リハビリスタッフは社員2名、登録14名で働きやすい職場です。お電話・メールなどお気軽にお問い合わせ下さい。

連絡先：住所：〒番号815-0032

福岡市南区塩原3丁目24-13

電話番号：092-541-6210

FAX：092-541-6205

Eメール：kango@nisiko.jp

担当者名：上林・緒方・柳

医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院

【募集職種】 作業療法士
 【募集人数】 若干名
 【雇用形態】 常勤
 【給与】 206,884円～ 通勤手当、時間外手当、住宅手当、扶養手当別途支給あり
 【賞与】 年2回 支給額3.5ヵ月程度(昨年実績)
 【昇給】 昇給年率2%前後 2,000円程度(昨年実績)
 【勤務時間】 平日土日祝日 白 8:30～至 17:00
 【休日】 有給休暇 3ヶ月経過後3日 6ヶ月経過後7日 附与 夏期休暇 上限4日 公休 年間105日
 【福利厚生】 職員食堂1食300円 社会保険あり
 【その他】 学会、研修会出張可
 【備考】 ・脳血管・運動器・呼吸器・心大血管 全てI
 ・リハ科医師2名・厚生労働省臨床研修指定病院・年間救急搬入件数10,000件
 ・超早期からのアプローチにより効果的リハ治療の確立を目指します。
 ・急性期から在宅まで展開しています。
 ・天神まで車で15分の春日市に位置しています。
 【応募方法】 随時受け付けておりますので病院見学等いつでもお気軽にお申し込み下さい。
 【連絡先】
 〒816-0864春日市須玖北4-5
 リハビリテーション科
 電話番号092-573-6622 FAX092-573-1733
 担当者名: 作業療法士 坂下

九州大学病院

募集職種: 作業療法士・理学療法士(有期契約職員)
 募集人数: 若干名
 採用月日: 平成25年4月1日(月)
 応募資格: 心身ともに健康で、作業療法士・理学療法士免許を有する者
 応募期限: 平成25年1月31日(木)17時必着の事
 雇用形態: 有期契約職員
 雇用身分: 国立大学法人九州大学有期契約職員
 雇用形態: 3年を限度とする(以後、更新あり)
 給与: 与: 国立大学法人九州大学職員有期契約職員給与規程に基づき支給
 (参考 平成24年12月現在)
 大学卒: 日給9,047円 月21日勤務した場合189,987円
 短大卒相当: 日給8,478円 月21日勤務した場合178,038円
 ※経験により調整あり
 ※昇給あり(上限あり)
 賞与: 与: 年2回
 勤務時間: 8:30～17:15(週38.75時間勤務)
 年次有給休暇(採用から6ヶ月後に付与)
 休日: 土日祝日、夏季休暇3日、年末年始(12月29日～1月3日)
 福利厚生: 期末・勤勉手当、通勤手当、住居手当、時間外勤務手当、退職手当等
 その他: 交通費など(マイカー通勤可能)
 備考: 脳血管・運動器・呼吸器・心大血管 全てI、都道府県がん拠点病院 PT14、OT6、ST2、
 応募書類: 1) 自筆履歴書: HPよりダウンロード可能。
<http://www.med.kyushu-u.ac.jp/reha/>
 2) 成績証明書(作業療法士・理学療法士養成課程分)
 応募書類の提出先及び問い合わせ先
 〒812-8582
 福岡市東区馬出3丁目1番1号
 九州大学病院総務課人事係 担当: 中武
 TEL 092(642)5024(ダイヤルイン)
 施設見学等: 九州大学病院 リハビリテーション部
[TEL:092-642-5862](tel:092-642-5862) FAX:092-642-5864
 担当: 作業療法士 藤田
 E-Mail: afujita@reha.med.kyushu-u.ac.jp
 注) 郵送する場合は、必ず「簡易書留」とし、封筒表面に下記どちらかを明記し
 「作業療法士応募書類在中」
 「理学療法士応募書類在中」と朱書きしてください。

医療法人恵愛会 福岡病院

募集職種: 作業療法士
 募集人数: 1名
 雇用形態: 期間職員(産休代替職員)
 平成24年11月1日～
 平成25年11月30日予定
 給与: 月額 220,000円
 賞与: 無し
 勤務時間: 8:30～17:00(休憩50分)
 1日7時間40分勤務
 休日: 土、日、祝(週休二日制)
 福利厚生: 社会保険完備、有給休暇
 その他: 交通費
 備考: 入院OT部門での業務です。
 応募方法: 電話連絡後、書類(履歴書・職務経歴書)をご郵送下さい。
 書類提出先・連絡先:
 〒811-3295
 住所: 福岡県福津市花見が浜1-5-1
 TEL: 0940-42-0145
 FAX: 0940-42-7181
 担当者: 坪井



体に合った車いす・目的に合った車いす
 をご提供します
 車いす・介護用品・福祉用具レンタル



本社／福岡市中央区天神 5-4-15
 営業本部／糟屋郡粕屋町仲原 3 丁目 9-20
 TEL／092-938-2208
 HP／<http://www.takisyokai.co.jp>

タキ商会

革手芸材料専門店



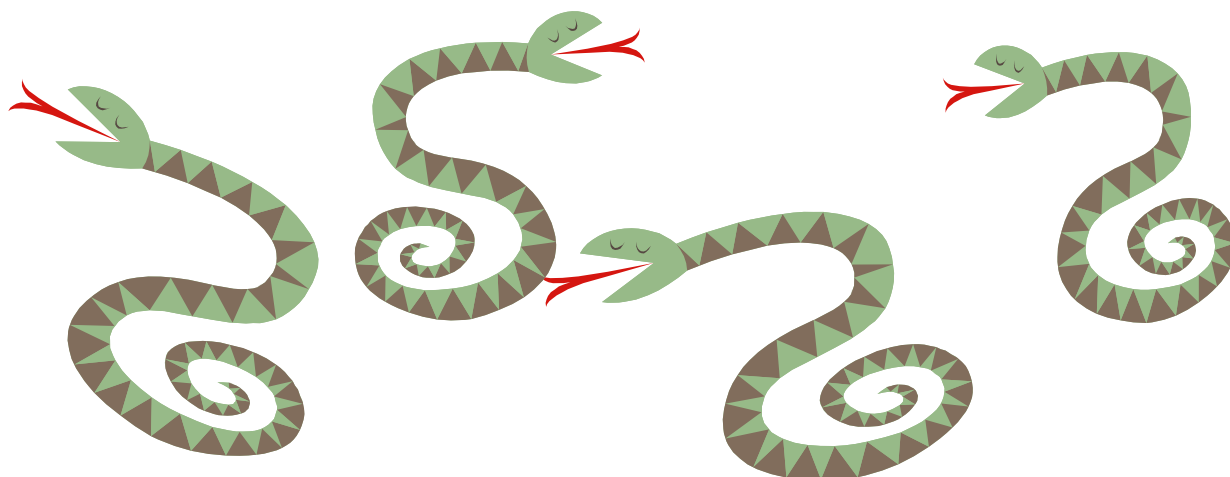
皮革手芸材料・工具・染料・本
 皮革…染色用・袋物用・衣料用
 レザークラフト教室と講習会

作業療法・病院関係 特別割引料金

配達・迅速発送

<http://www.e-hands.jp>

福岡店 (092) 713-5088
 〒810-0041 福岡市中央区大名1-5-2



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学大学院

福岡天神キャンパス (福岡県福岡市)
 大川キャンパス (福岡県大川市)

【医療福祉学研究科】

修士課程

保健医療学専攻

医療福祉経営専攻

臨床心理学専攻

博士課程

保健医療学専攻

●看護学分野 ●ナースプラクティショナー養成分野 ●助産学分野 ●理学療法学分野
 ●作業療法学分野 ●言語聴覚分野 ●視機能療法学分野 ●福祉援助工学分野
 ●リハビリテーション学分野 ●放射線・情報科学分野 ●生殖補助医療胚培養分野
 ●医療経営管理分野 ●診療情報アナリスト養成分野 ●医療福祉国際協力学分野
 ●先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 ●医療福祉学分野
 ●医療福祉ジャーナリズム分野

●看護学分野 ●助産学分野 ●理学療法学分野 ●作業療法学分野 ●言語聴覚分野
 ●視機能療法学分野 ●福祉援助工学分野 ●リハビリテーション学分野
 ●放射線・情報科学分野 ●生殖補助医療胚培養分野 ●医療福祉経営学分野
 ●診療情報管理・分析学分野 ●医療福祉国際協力学分野
 ●先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 ●医療福祉学分野
 ●医療福祉ジャーナリズム分野 ●医療福祉心理学分野

【薬科学研究科】

修士課程

生命薬科学専攻

【薬学研究科】

博士課程

医療・生命薬学専攻

※専攻、分野によっては、受講できるキャンパスが限られているものもございますので、詳細につきましては、お問い合わせ下さい。※短大卒・3年制専門学校卒で進学可能（修士課程）



- ◆ 社会人の方も働きながら無理なく受講できます
- ◆ 一流教授陣の講義をリアルタイムで受講できます
- ◆ 研究者志向の方のニーズにも対応できます

分野・領域についてのお問い合わせ・資料請求先

福岡天神キャンパス 〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜 1-3-1
 TEL 092-739-4321 E-mail fukucamp@iuhw.ac.jp

(平成 25 年 4 月より下記に移転予定)
 福岡県福岡市早良区百道浜 3-6-40 (福岡国際医療福祉学院内)

大川キャンパス 〒831-8501 福岡県大川市榎津 137-1
 TEL 0944-89-2000 E-mail oocamp@iuhw.ac.jp

HP <http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

会員動向調査

調査期間 (2012.9.12~2012.11.27)

福岡県作業療法協会 会員数2,428名

(正会員：2,217名 自宅会員：211名)

<入会>

香月 大輔 おなが中間医師会
おかがき病院：2012年 9月
内田 政樹 芳野病院：2012年 8月
尾形 拓哉 芳野病院：2012年 9月
小林 佳広 北九州八幡東病院：2012年10月
小塩 恭平 八幡厚生病院：2012年10月
仲野 千喜 八幡厚生病院：2012年10月
近藤 麻実 北九州安部山公園病院
：2012年 9月
小谷 佳輔 北九州安部山公園病院
：2012年10月
嘉数 千春 堤病院
：2012年9月
福山 貴文 堤病院
：2012年10月
江本 慶 松井病院
：2012年10月
伊藤 由樹 東筑病院
：2012年 8月
久積 悟 正和なみき病院：2012年10月
林 優姫 牧山中央病院：2012年 8月
眞珠 宗彦 小倉リハビリテーション病院
：2012年 8月
吉野 由莉 水戸病院：2012年10月
清水 慎吾 香椎丘リハビリテーション病院
：2012年 9月
園田 和也 香椎丘リハビリテーション病院
：2012年10月
坂田 希世子 誠愛リハビリテーション病院
：2012年 9月
福富 静 誠愛リハビリテーション病院
：2012年 9月
小金丸 眞世 原病院：2012年10月
池田 知弘 香椎原病院：2012年11月
原田 幸 香椎原病院：2012年11月
富永 武憲 福岡徳洲会病院：2012年10月
山下 泰平 福岡徳洲会病院：2012年10月
森 健二 福岡和白病院：2012年10月
伊東 智佳子 福岡市医師会
訪問看護ステーション中部
：2012年 9月
早川 綾乃 博愛会病院：2012年10月
片岡 阿耶 福岡保養院：2012年 7月
伊藤 久華 さくら病院：2012年 8月
小野 勝史 健康リハビリテーション内田病院
：2012年 8月
橋本 沙織 健康リハビリテーション内田病院
：2012年 8月

谷井 徳子 健康リハビリテーション内田病院
：2012年 8月
井上 慎 八女リハビリ病院：2012年 9月
池田 裕弥 八女リハビリ病院：2012年10月
水田 幸平 新古賀病院：2012年 9月
山口 紀子 柳川リハビリテーション病院
：2012年 9月
栢田 早紀 柳川リハビリテーション病院
：2012年10月
高橋 弘樹 聖マリア病院：2012年 6月
西田 佳菜子 聖マリア病院：2012年 6月
吉富 愛 丸山病院：2012年 9月
野田 彰彦 南大牟田病院：2012年 9月
綾部 仁美 原鶴温泉病院：2012年 9月

<県内移動>

盛谷 朋子 済生会八幡総合病院：2012年 9月
(自宅より)
今村 恵美 大手町病院：2012年11月
(大手町診療所より)
上森 千尋 自宅：2012年 9月
(猪位金福祉会 暖家の丘より)
野村 めぐ 自宅：2012年 9月
(東和病院より)
木下 博光 ライズケアセンター
：2012年 8月
(通所介護ライズより)
川島 崇大 じんばやし整形外科
リウマチ科医院：2012年10月
(桜クリニックより)
北井 祐介 つくし会病院
：2012年11月
(八幡東病院より)
西尾 絵里香 千鳥橋病院リハセンター
：2012年10月
(たたらリハビリテーション病院より)
久保 かおる 自宅：2012年11月
(まえばる老健センターより)
八島 佐和美 自宅：2012年11月
(倉光病院より)
堀之内 洋美 暖家の丘
デイサービスセンター
：2012年10月
(暖家の丘 訪問看護ステーションより)
上田 元紀 社会保険 直方病院
：2012年8月
(社会保険 筑豊病院より)
木村 候 自宅：2012年11月
(株式会社 らそうむ より)

松田 陽子 しばた医院 : 2012年 9月
(自宅より)

<退会者>

山下 美和 : 2012年 7月
岩原 鉄兵 : 2012年10月
(神奈川県へ)

長尾 周三 千歳療護園 : 2012年11月
(他県へ)

溝口 由佳 : 2012年10月
森川 さゆり : 2012年 9月
(他県へ)

会員の皆様へ

これまで、会員の皆様の移動状況を会報にて報告してまいりましたが、「事務所へ報告はするが、会報への掲載は望まない」という会員の要望もございます。

異動等の報告の際、会報への掲載を希望されない場合は所定の用紙（異動届等）にその旨ご記入くださいますよう、よろしくお願いいたします。

異動の際の手続きについて

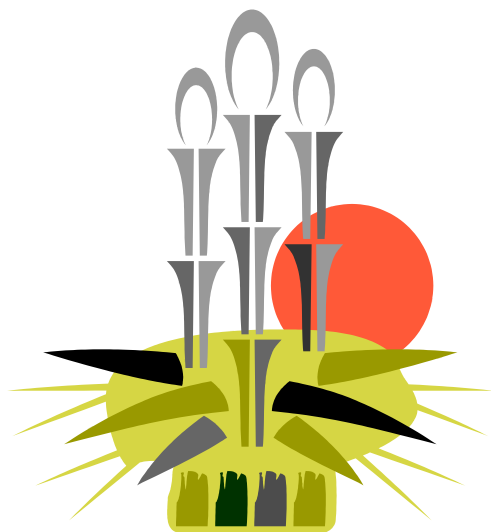
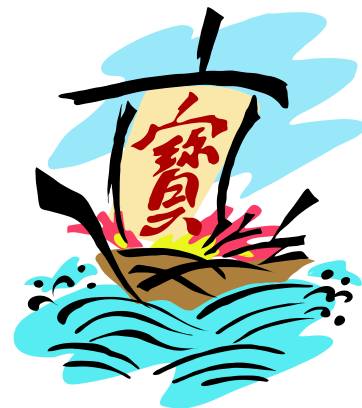
職場・自宅等の変更のあった方は、必ず文書で県協会事務局へご連絡下さい。

協会ホームページ (<http://www.fuku-ot.org/>) へアクセスし、入会・異動・退会の項から届出用紙をダウンロードして下さい。

用紙に異動前・後の施設名、郵便番号、住所、電話番号を明記して下さい。自宅住所の変更もお忘れなくお願いします。

ご不明な点は、福岡県作業療法協会事務所までお問い合わせ下さい。

T E L 0 93-952-7587



編集後記

新年、明けましておめでとうございます！去年は仕事運はそこそこだったのですが、健康運があまり芳しくありませんでした。考えてみると39歳・・・平均年齢80代の患者様からはまだまだ若いと言われますが、少しずつ老いを感じる今日この頃です。しょっちゅう風邪をひく、喘息になる、腰痛が悪化する、おまけに膝も痛くなる、太る（これは関係ないか）・・・など割と散々な目に遭いました。新年早々、景気の悪い話で申し訳ないですが、今年は前厄だし、特に健康には気を付けて仕事にのぞもうと思います！皆さまもお体にはくれぐれも気を付けて下さい！（S部員）